

～各種募金は、下記【注文番号】で、毎週受付しております。ご協力をお願い致します～

- ★【注文番号:500251】東海第二原発差止訴訟基金 1口500円
- ★【注文番号:500252】関東子ども健康調査支援基金 1口1000円
- ★【注文番号:500253】被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】 1口500円
- ★【注文番号:500254】JOSO脱プラ基金 1口500円
- ★【注文番号:500255】鈴木牧場・新牛舎応援基金 1口500円(期間:～2025年3月4回まで)
- ★【注文番号:500256】脱原発と暮らし見直し委員会「12年のまとめ」の印刷カンパ 1口200円



News Letter

2024年12月5回号発行: 常総生協広報G
2024.12.9

JOSO食材で 素敵に年末年始を！

～魚の美味しさを活かす、練り物づくり～いちうろこ (静岡県・静岡市)



『いちうろこ』は文政元年（1818年）頃より、かまぼこ造りを主とした海産物商として、東海道53次の江戸から16番目の「由井宿」の分村である今宿村に誕生しました。創業以来魚そのものの味を生かし、添加物に頼らず、一貫して手作りにこだわった練り製品を製造しています。

12月5回カタログでは、お正月には欠かせない、いちうろこの蒲鉾や伊達巻などをご紹介します。今年は新商品も掲載しています。

【美味しさのポイント！】

その1 原料へのこだわり

新鮮な魚を使用し、リン酸塩を使わない無リンの自家製すり身から蒲鉾を製造。創業当初からの製法です。



その2 製法へのこだわり



●昔ながらの石臼製法

鮮度ときめ細かさを保つため、すり身は昔ながらの石臼を使用し、丁寧に練り上げています。

【2ページへ続く】

2024年12月・2025年1月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●

○「常総っ子応援団」in流星台プレイパーク: 毎週木曜日 10～14時 活動中です！（出入り自由）

【お知らせ】秋の生協祭につきまして：今年の秋は開催せず、来年度に50周年の集いなどを企画出来ればと思います。

○提携・協同・連帯企画●

12/25(水) 東海第二原発運転差し止め訴訟控訴審 第5回口頭弁論(@東京高等裁判所)

1/19(日) 甲状腺検診@白井市

1/26(日) 関東子ども健康調査年次報告会

●職人による手造り

一部、機械を使用するものもありますが、いちうろこの製品のほとんどは職人の手仕事。磨き抜かれた職人の技で、味わい深くも優しい食感に仕上がっています。



■12月5回のイチオシ商品



どれにしようか迷ったらこれ！おせちには欠かせない、紅白の蒲鉾と伊達巻のセットです。それぞれ単品で買うよりも（税込）210円もお得になります♪

12月5回カタログ 1ページ 【9番】 「いちうろこ 蒲鉾・伊達巻セット」

12月5回・3ページにもいちうろこの商品が勢ぞろい。

新年を迎えるおせちにはJOSOイチオシの練り製品をおすすめします



～生産者が紡いだ「のし餅」～

「どんぐりていののし餅」で新年をお迎えください！

55 1枚 特価 1,200円(税別)

56 2枚 特価 2,300円(税別)

2020年からどんぐりてい・倉持さん達に「のし餅」を搗いてもらっています。

どんぐりていさんは、手打ちそばと薪を使ったかまど炊きのご飯を出す農家レストランを営業しています。茨城県産のもち米を仕入れ、その「かまど」で蒸したもち米で「のし餅」を作ります。試行錯誤を重ねた、ふっくらコシの強いお餅をお届け致します！

12月5回は、倉持さんや、倉持さんとなつがりのある有機農家さんなどもお手伝いに加わり、総出で「のし餅」を作ります。前日の夜から仕込み、翌日早朝に常総生協に納品、当日中に組合員へお届けします。お届け時にはまだ温かく、「出来立てのお餅が届いた」と感動する組合員さんも多数。



今年はぜひ「どんぐりていののし餅」で年末年始をお過ごしください！

【お知らせ】1/1回「豚肉」企画につきまして（商品部 小室）

いつも生協商品をご利用頂きありがとうございます。

来週配布の1/1回カタログ掲載の「岩瀬さんの豚肉」「茨城県産ローズポーク」につきまして、
納品の関係で、月曜日コースのみ【お届け不可】【温度帯変更】が発生します（一部商品を除く）。

※火曜日コース以降は、通常通りのお届けとなります。

大変申し訳ございませんが、1/6以降で「岩瀬さんの豚肉」「ローズポーク」を使用したい場合は12/5回企画でご注文ください。その際は「冷凍」での保存をおすすめします。

【1/1回企画 お届け可能商品（月曜コースのみ）】

- ①岩瀬さんの豚肉（コースしゃぶしゃぶ、豚挽肉）【冷蔵】
- ②ローズポーク（豚挽肉）【冷蔵】
- ③岩瀬さんの豚肉（徳用小間切、小間切）【冷蔵 → 冷凍でのお届けです】
- ④ローズポーク（徳用小間切、小間切）【冷蔵 → 冷凍でのお届けです】

【1/1回企画 お届けできない商品（月曜コースのみ）】

- ・ 上記以外の豚精肉
- ・ 村山さんのチャーシュー

■同時折込のJOSOエールにて**丹沢高原豚の精肉特集**を行っております。そちらは全ての曜日で通常通りお届け可能です。詳細は、次週1/1回のニュースレター、カタログ7ページでもお知らせいたします。

東海第二訴訟第5回弁論期日のご案内（事務局木本）

12/25（水）東海第原発運転差訴訟 控訴審 第5回 口頭弁論 東京高等裁判所へお集まりください！

【12/25（水）第5回弁論期日の日程】

- 13:30～ 受付（高裁前歩道）
- 14:00～14:25 高裁門前集会（14:40傍聴席抽選発表）
- 15:00～16:00 第5回口頭弁論
- 16:45～17:30 記者会見・報告集会
（全日通霞が関ビル8F会議室：高裁より徒歩15分）

（弁論予定）

- 1.第5層（避難計画）の司法判断枠組み（鈴木弁護士）
- 2.東海村・日立市の避難計画の不備・欠落（大河弁護士）
（東海村・日立市が作成した避難計画の問題点を、当該市村に住む原告の方が調査・検討して弁護士が準備書面を作成。必見です）

11/27「女川原発運転差止訴訟」控訴審（仙台高裁）の判決

仙台高裁は「避難計画に実効性がなく、生命や身体に関わる権利が侵害される具体的な危険があることについて主張や立証をした場合は、原発の運転の差し止めが認められる」と指摘したうえで「計画が了承されるまでの過程に看過しがたい誤りがあるとはいえない」として1審に続いて原告の訴えを退けました。

東海第二差止訴訟でも重要な争点の「避難計画」。12/25東京高裁では、東海村・日立市が避難計画を作成したことを受け、当該市村の原告当事者が現地調査・検討して作成された準備書面のプレゼンが行われます。

傍聴席を満席にすることは裁判官への何よりの訴えになります！原告・賛同人の方はもちろん、組合員の方は是非東京高裁へお集まりください。



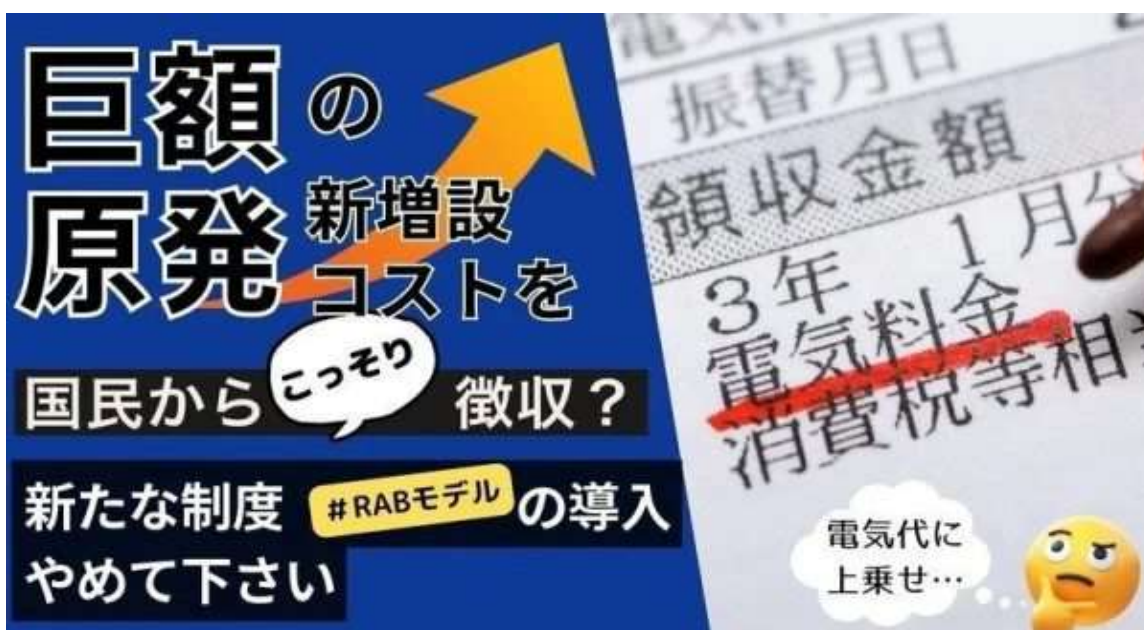
9/9 東京高裁門前集会の様子



9/9 報告集会の様子

署名のご協力お願い

原発新增設コストをこっそり徴収する新制度導入をやめて



経済産業省は、巨額にのぼる原発の新設・増設の建設費や維持費を、稼働前から電気料金に上乗せできる新制度（RABモデル）の導入を検討しています。これは本来、発電事業者や投資家が負うべきコストやリスクを広く市民に転嫁する仕組みです。

新制度導入に反対する複数の学識者、市民団体や環境NGOなどが共同で呼びかけ、オンライン署名サイトChange.org上で約27,000筆（2024/12/5現在）の反対署名を集めているところです。署名呼びかけは現在も継続中で、次の集約は1月中旬のため、署名用紙は**12月27日（金）まで**にご提出ください！

オンライン署名
<https://cnic.jp/51730>



もしくは 同時配布の署名用紙に→
お願いします！



「RABモデル」の導入に反対する理由

原発の建設費は急上昇。今や1基数兆円にのぼる例もあり、建設期間も長期化。発電コストは再エネよりはるかに高い。



政府は原発の建設費用を、稼働・発電前から電気代に上乗せできる新制度（RABモデル）を入れようとしている。



今でも、原発や火力発電には電気代だけでなく、多額の公的資金が投入されている。それでも足りないと言っている発電事業者や投資家が要求。



発電事業者や投資家の利益を安定化させて原発新設を進めるために、電気代の上昇などコストやリスクが国民負担となる。結果的に温暖化対策も邪魔して遅らせる。このような制度はいらない。

